

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第110号 2026.3.16

上には上がいる…



先週の金曜日に卒業式を終え、3年生が通いなれた大宮中学校から巣立っていきました。1、2年生の皆さんも、卒業式を迎えるにあたり、さまざまな形で準備に関わってくれました。そのおかげで、素晴らしい卒業式を行うことができました。ありがとうございました。

今日からは、1、2年生の皆さんが大宮中学校の中心となります。今年度の登校日数は、今日もあわせてあと5日となりました。新しい学年へと上がっていく心の準備をしてほしいと思います。そして、あっという間に4月になり、新入生を迎えることとなります。皆さんが、新入生から憧れられる先輩になってくれることを期待しています。

さて先週末、大阪市の中学生のバスケットボールの選抜チームが石川県に遠征に行ったので、私はその遠征に同行してきました。石川県の県庁所在地である金沢までは、北陸新幹線を利用すると約2時間30分で行くことができます。とても便利になったと感じました。

現地では、大阪市のチームが石川県、富山県、福井県の選抜チームと試合をしました。どのチームにも、素晴らしい能力を持った選手がたくさんいて、とても見ごたえのある試合でした。大阪市の選手たちは、大阪市の中ではレベルの高い選手ばかりですが、今回の遠征で「上には上がいるんだな」ということを実感したのではないかと思います。選手たちにとって、とてもよい経験になった遠征だったと思います。

自分よりもレベルの高い人や、これまで知らなかった世界に出会うと、「もっと頑張ろう」「もっと成長したい」という気持ちが生まれます。これはスポーツだけではなく、学校生活でも同じことが言えると思います。3年生も卒業して、自分の進んだ道で、「上には上がいるんだな」と感じるのだと思います。

授業で新しいことを学ぶこと、友だちの意見を聞くこと、本を読むこと、そしていろいろなことに挑戦すること。そうした新しい出会いの一つ一つが、皆さんの世界を広げてくれます。

4月になると、新しい1年生が入学してきます。皆さんは一つ学年が上がり、大宮中学校の中心となっていきます。新しい出会いや経験を大切にしながら、自分の世界を広げ、さらに成長していってくれることを期待しています。